

あずま
東

つよしの

奔西走



に、期間が半年の短期保険証を発行します。昨年度、コロ

「資格証」は、医療費の窓口負担が10割です。「コロナ」なのに医療から遠ざけるのか、「お金の切れ目が命の切れ目か」と、市民から「資格証発行やめよ」の運動が

は、対象外です。国保、介護、後期高齢の保険料のコロナ減免は、昨年より条件が厳しいです。東市議は制度改善を求めています。



市に申し入れする党市議団と森脇前県議、やどめ和子さん(左端)(8/30)

国保証とりあげ ストップが実現!

8月5日の国民健康保険運営協議会で、市は保険料滞納世帯への資格証明書(資格証)を今年度は発行しない(国保証とりあげはしない)と報告しました。替わりに、期間が半年の短期保険証を

ナ禍で「資格証」の新規発行を止めたにもかかわらず、収納率は上がったのが理由です。来年度以降の「資格証」発行は保険料を払える能力がある世帯に限るとしています。

コロナ対策も改善を
コロナの国保傷病手当金は、自営業者やフリーランスは対象外です。国保、介護、後期高齢の保険料のコロナ減免は、昨年より条件が厳しいです。東市議は制度改善を求めています。

8月定例岡山市議会が8月31日に開会しました。しかし検査や人員の予算は感染者増で必然的に増えるものに限られています。PCR検査対象拡大など感染を抑えるために必要な制度拡充の予算はありません。

日本共産党岡山市議団は8月30日、医療確保、PCR検査対象拡大、営業生活支援を柱とする第8次要望を市に対して行いました。那須副市長が応対しました。申し入れ文は党市議団ブログをごらんください。

広がっていました。市民の声が市政を動かしています。国保料が払えないのは国保料自体の高さが原因です。厳しい差し押さえも問題です。

新型コロナ 医療確保、検査対象拡大、営業支援を

危機に対応できる予算を
コロナの感染拡大をう
け、岡山県に緊急事態宣言
が発令されました。しかし

発熱外来やコロナ患者受け入れを行う医療機関への補助金や給付金がいま、次々終了しています。

ワクチン接種者の感染報告もあり、ワクチン一本槍でない施策が必要です。市に第8次申し入れ

ひまわり

被爆76年の8月6日午前8時15分、被爆者の方々から東山の原爆被爆死歿者供養塔前で黙禱、献花しました。今年は核兵器禁止条約発効の年であり、黒い雨訴訟で被爆者が勝訴した年です。ぜひ自公政権が拒み続けている核兵器禁止条約に参加する政府をつくる年にもしたいです。(東つよし)